

「メガネサナエ保全」ワーキンググループについて

諏訪地域振興局環境課

1 概要等

トンボの一種であるメガネサナエは、諏訪湖創生ビジョンにおいて生態系改善の指標種に位置付けられている。国内では希少種に位置付けられ、現在、確実な生息地は諏訪湖と琵琶湖、愛知県の一部のみで、環境省レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類、長野県レッドリストでは絶滅危惧ⅠB類に区分されている。令和元年からメガネサナエの成虫のモニタリング調査（繁殖場所の目視による出現数のカウント）、令和2年から羽化殻の調査（湖周の栈橋における羽化殻採取、計測）を実施し、令和3年度から「メガネサナエの保全手法検討会議」を開催していたが、令和6年度以降はワーキンググループに位置付けて保全手法の検討を行っている。



2 令和7年度の活動内容

ワーキンググループ	WG 開催(R8.2.12) 各機関からの活動報告、保全手法及び次期ビジョン改定に向けた意見交換
環境課	・地元住民への情報共有(チラシ回覧) ・市町村の環境イベントでのパネル展示による啓発
諏訪湖環境研究 C	・メガネサナエの羽化殻調査及び成虫モニタリング調査 ・環境学習として諏訪湖環境研究センター常設展示 ・環境フェア等の環境イベントへの出展 ・出前講座等の実施による普及啓発
諏訪市教育委員会	・諏訪市教職員研修 ・すわ未来創造「子どもゆめプロジェクト(第3期)」によるメガネサナエの羽化殻調査。 (詳細は別途発表)

3 令和8年度の予定

メガネサナエの情報共有を図るとともに、地域ぐるみの保全活動の方法を検討する。

各機関の調査結果のとりまとめが終わる1月頃にワーキンググループを開催し、各機関における活動報告を行うことで情報共有を図るとともに、今後の取組について検討する。

	4～6月	7～9月	10～12月	1月～3月
諏訪湖創生ビジョン 推進会議	推進会議報告 (5.28)			
ワーキンググループ				WG 開催
環境課		地元住民に情報共有		
諏訪湖環境研究 C	諏訪湖環境研究センター来訪者への啓発 羽化殻調査 	成虫調査 教員向け研修	調査のとりまとめ	